

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：健康栄養学部 名前：塩谷 亜希子 作成日：2026年3月11日

1. 教育の責任

健康栄養学部のカリキュラム・ポリシーに基づき、食と健康の専門家を育成することを目的に、アドバイザーとしてキャリアアップに関する科目を担当している。また、管理栄養士としての専門性を高めるために必要な分野の一つとして、「応用栄養学」を担当している。さらに管理栄養士として情報収集や分析および課題解決をする、主体的に考える力を養う「卒業研究」「ミラimestepsプログラム関連科目」を担当している。そのほか、担当科目は下記の通りである。

【キャリアデザインⅠ（1年次 春学期 2単位）】

【キャリアデザインⅡ（1年次 秋学期 2単位）】

【食事摂取基準論（1年次 秋学期 2単位）】

【応用栄養学（2年次 春学期 2単位）】

【応用栄養学実習（2年次 秋学期 2単位）】

【ミラimestepsプログラム（3年次 春学期 2単位）】

【卒業研究（4年次 春・秋学期 4単位）】

2. 教育の理念

大学卒業後は大きな社会の変革のなかで、課題解決力をもち、栄養・食を通して人々の健康や幸福に貢献する管理栄養士となることが期待される。本学の建学の精神、目的、使命、教育方針に基づき、「食」を通じて人々の健康の維持とその向上を支援することができる管理栄養士を育成する。

3. 教育の方法

【教育の目的と目標】

各ライフステージにおける栄養ケア・マネジメントの基礎を PowerPoint などの独自資料を用いて効果的に学習し、実習の過程で課題・対象についての基礎的理論を背景として技能を習得する。その過程で生じた疑問は、授業後またはメール等で受け、早期に解決することとしている。また、自分自身も学会に所属し、最新の情報を学び、授業に取り入れるようにしている。学生には、基礎的な知識の習得だけでなく、将来その知識を生かしながら管理栄養士としての資質の向上を図り、人として成長も遂げることができるよう、知識習得と実践を重ねる。

【教育実践】

シラバスに基づき、主に PowerPoint で作成した資料を用い講義を行う。開発教材として、指定した教科書を購入してもらい、教材として使用する。授業後の質問は、その場またはメールで対応する。授業前には予習、その後復習の時間を授業外に設ける。講義授業ではまとめプリント、実習授業では栄養ケア・マネジメントシート（レポートとして）を使用する。講義授業では、知識習得度を計るため、まとめ試験を実施する。

4. 教育の成果

* 各ライフステージについて学び、ライフステージごとの栄養ケア・マネジメントを実習するため、2年次と3年次の臨地校外実習において、特に高齢者施設や社会福祉施設（保育園など）に関わる際に、得た知識を生かすことができた。また、将来の職業選択をする際の一助となり得た。

* 独自の各章まとめプリントを作成し、章の終了ごとに実施したことは、まとめ試験や管理栄養士国家試験勉強に役立ったと評価を得た。また、実習レポートの内容については、臨地校外実習に生かせたと学生から評価を得た。

5. 改善への努力と今後の目標

* 知識の定着が先立ち、参加型の授業形式には及んでいない。今後はコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の向上とそれら

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：健康栄養学部 名前：塩谷 亜希子 作成日：2026年3月11日

の習得を目的とした授業内容（例えばグループワークや、プレゼンテーションの機会）を増やしたい。

* 最近の管理栄養士国家試験は年々難易度が増す傾向であるため、授業に関する事前の予習と事後の復習の実施を毎回授業で示すようにする。

【添付資料】

* 日本人の食事摂取基準（2025年版）

* 応用栄養学 第4版 朝倉書店

* 応用栄養学実習ワークブック 第4版（株式会社みらい）